

## わがまちづくり 交付金交付団体の 活動を紹介します

町では、自由な発想のもとで住民自ら考え、自発的に地域の活性化に取り組む団体や自治会等に対して、その活動を支援する「岩美町わがまちづくり交付金」の制度を平成16年度から設けています。  
今回は、1300年の歴史ある岩井温泉を通じて、生き生きと暮らせる住みよいまちづくりを目指す岩井地区自治会の活動を紹介いたします。

### 御湯の里ゆかむり温泉健康村推進プロジェクト

#### 岩井地区自治会

江戸時代より藩主も訪れる湯治場として栄えた岩井温泉は、1300年の伝統を誇り、てぬぐいをかぶって湯舟で湯をかぶる「ゆかむり」の奇習で知られています。

最盛期には、旅館も10軒あまり営業し、年間利用客も10万人を越えていましたが、現在、旅館は、3軒、外来の外湯利用客は4万人にまで落ち込んでいます。それに伴い、商店街も土産物店、飲食店などが撤退し、火が消えた状態になっています。こうした現状を打開するため、温泉協力隊などが立ち上がり、ボランティア活動を続けています。

次世代の子どもたちのために岩井温泉の環境の保全とよりよい人間関係を築き、高齢者や子どもが、生き生きと暮らせる住みよい町づくりを目指しています。地域住民とともにそれぞれの生き甲斐づくりを創造、実践することにより、山陰海岸とともに岩井温泉が21世紀の岩美町の情報発信の核となり、地域の公益の増進に寄与することを目的としてプロジェクトチームを立ち上げて取り組んでいます。



地区民作品展

#### 主な事業内容

- ・民芸品、特産品コンクール、地区民作品展を行い、木・竹工芸品、因州和紙人形、陶芸品など地域住民みんなが新しい民芸品や土産品、特産品を創出しています。
- ・空き家を活用して地区民作品展や土産品販売店、空き家を活用したリサイクルショップ（フリーマーケット）を実施しています。
- ・さらに、古民家を活用した「おふくろの味」など喫茶、飲食店も計画しています。

・将来的には、旅館組合と連携し、良質・適温という温泉の特徴を最大限にいかし、湯治客が長期間、逗留し、腰痛・リュウマチなどがや病気の治癒にあたるような長期滞在型リゾートの温泉健康村づくりを目指しています。そうすることで若者が定住しやすい環境づくりを推進し、岩井温泉街の活性化とともに雇用の創出を図っていききたいと思えます。

また、児童、生徒の体験活動を支援し、町・県外の児童生徒も受け入れ、宿泊を伴う体験活動を実施したいと考えています。

例

#### 「川の学校」

美しい海や川での体験活動…

鮎やヤマメのつかみ取りなど

#### 「物づくり学校」

土産物の木工芸、陶芸体験

#### 「そばや野菜の学校」

休耕地及び未使用の畑を利用した農業体験



新作土産品  
ゆかむり人形



地区民作品展



地区民フリーマーケット  
(リサイクルショップ)